

公開授業	
学年	中2

授業者 土屋真巳（豊野中） 信太一郎（長野清泉女学院中）  
小林晴雄（東北中） 青木由美子（市立長野中）

## 1 題材について

- (1) 題材名「動くピクトグラム～ようこそ私の街へ～」(全5時間)  
【 A 表現(1)イ(イ) (2)ア(ア)(イ) B 鑑賞(1)ア(イ)】

### (2) 題材設定の理由

2020年東京オリンピックで競技用の動くピクトグラムが注目を集めた。1964年の東京オリンピックで用いられたピクトグラムと比較すると、時代の進化を感じることができる。身の回りの美術も時代に合わせて、変化が必要とされる部分もあるだろう。「動くピクトグラム」も、電子掲示板などで少しずつ導入されはじめている。ピクトグラムに動きが加わることで、より正確な情報伝達と、動きでしか表せない美しさやユーモアが生まれる。

今年善光寺はご開帳ということもあり、学校周辺は観光客が後を絶たない。そこで、自分の街をはじめ訪れたどんな人でも、楽しく快適に過ごせる2～3コマの「動くピクトグラム」を考えることで、生活を豊かにするデザインについて主体的に学んだり、地域への愛着を高めたりすることにつながるのではないかと考えた。ピクトグラムの基本を学び、見る人の気持ちや、伝えたいことが伝わる単純化された美しいデザインについて考えることを通して、ピクトグラムには欠かせない「情報伝達」「単純化された美しいデザイン」「見る人の気持ち」この3つの視点で、表現を練り上げてまとめていける力をつけたいと願い、本題材を設定した。

また、本題材は構想段階は、2～3コマのバラバラ漫画のように紙に鉛筆で描き、構想が決まった後は端末のアプリを使って仕上げていくことで、発想を広げながらも短い時間で扱えるようにした。

## 2 題材の目標

ピクトグラムの基本を学び、見る人の気持ちや、伝えたいことが伝わる単純化された美しいデザインを考えることを通して、生活を豊かにするデザインについて主体的に学び、はじめて街を訪れた人が、より楽しく快適に過ごすための動くピクトグラムを2～3コマで表すことができる。

## 3 題材の評価規準

評価の観点	題材の評価規準	
知識・技能	知…ピクトグラムの基本、「どの年代のどんな国の人も、ぱっと見て意味がきちんと伝わる、単純化されたデザイン」の視点で伝達するイメージを捉えることを理解している。(ア) 技…2コマのイラストの特性を生かし、伝えたいことに応じて自分の表現方法を追求して、見通しをもって創造的に表している。(イ)	制作の様子 発言 学習カード 試作 作品
思考・判断・表現	発想…伝えたい内容を基にイメージを広げ、伝える相手や場面から主題を生み出し、形や色によるピクトグラムの伝達の効果と美しさや面白さなどの調和を総合的に考え、表現する構想を練っている。(ウ) 鑑賞…伝えたい内容やイメージとの調和のとれた洗練された美しさ面白さを感じ取り、作者の意図と創造的な工夫や、生活や社会を豊かにする美術の働きなどについて考えるなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深めている。(エ)	試作 作品  発言 学習カード
主体的に学習に取り組む態度	表現態度…美術の創造活動の喜びを味わい、主体的に目的や機能などを考えた表現の学習活動に取り組もうとしている。(オ) 鑑賞態度…美術の創造活動の喜びを味わい、主体的に用と美の視点をもって、友だちの作品にアドバイスをしたり、作品鑑賞したりしている。(カ)	制作の様子 学習カード 発言

#### 4 指導計画(全 5時間中 本時:第2時)

段階	時間	○学習内容 ・指導、支援	・評価の観点
導入 発想	1	<p>○2020年東京オリンピックピクトグラムと、1964年東京オリンピックのピクトグラムを比較する。</p> <p>・1964年のピクトグラムができた背景を伝えることでピクトグラムの基本について理解し、比較することで動く良さを感じられるようにする。</p> <p>○はじめて街を訪れたどんな人でも、楽しく快適に過ごせるような2～3コマのピクトグラムを考える。(色は2色まで。)</p> <p>・参考作品と、例題を出題し、制作の流れや、道具や材料の使い方を把握できるようにする。</p> <p>・城山地区の資料を用意し、様々な案を考えられるようにする。</p> <p>・コマ撮りアプリを使い、動きを見られるようにする。</p>	<p>・ピクトグラムに興味関心を持ち、意欲的に制作に取り組んでいる。</p> <p>評価規準(オ)《活動する姿・学習カード》</p> <p>・ピクトグラムについて理解している。</p> <p>評価規準(ア)《作品、学習カード》</p> <p>【複線の手だてや支援】</p> <p>・描きたい絵があるが、描けない生徒には、端末で写真などを参考に描くように促す。</p>
構想 練り上げ	1 本時	<p>○訪れる人の気持ちを考えて、よりわかりやすく伝えたいことを伝えるためにはどのような工夫をすればよいのか参考作品を見ながら全体で考える。</p> <p>・表し方と情報量と動きの効果を変えた数パターンのピクトグラムを提示し、グループで話し合い、同じ主題でも表し方(禁止や推奨)によって見る人の気持ちが変わることや、情報量の多い少ない、動きの効果を考えないとぱっと見て伝わらないことに気づかせる。</p> <p>○話し合ったことを参考に、更にアイデアを練り上げる。</p> <p>・前時のものと比較し、本時の練り上げの良さを認めていく。</p> <p>・制作途中で相互鑑賞の時間を短時間設定し、生徒同士が自由に作品を見られるようにする。</p>	<p>・前時の試作を、参考作品を見て話し合ったことなどを基に、練り上げ、訪れる人たちの気持ちを考えた伝えたいことがより伝わる2～3コマのピクトグラムに改善している。</p> <p>評価規準(ウ)《作品、学習カード》</p>
制作	2	<p>○前時の制作の続きを行い、デザインの決定をする。決定したデザイン案を基に、iPadのアプリ、key ノート(chrome book の場合は PowerPoint)を使って、デザインを仕上げていく。</p> <p>・アプリの使い方、図形の描き方、スタンプの利用、変形方法、色の変更方法を伝え短時間で仕上がるようにする。</p>	<p>・前時の案を基に、端末で表現方法を工夫して、見直しをもって創造的に表現している。</p> <p>評価規準(イ)《作品》</p> <p>【複線の手だてや支援】</p> <p>・端末の機能を効率よく使うことができない生徒には、操作方法を確認したり、一緒に操作を行ったりする。</p>
鑑賞	1	<p>○key ノートで完成した画像をカラープリントアウトし、コマドリアプリで動画として保存する。動画の状態で作成したものを全員で鑑賞して感想を発表し合う。</p> <p>・情報が伝わることと、単純化された表現の美しさやよさや面白さ、作品に込められた「おもてなし」の気持ちなどの表現の工夫に着目して鑑賞するよう促す。</p> <p>○動画データをQRコードに変換して印刷し、街の地図中の配置したい場所に貼って、校内に掲示し、来校者が自由に観ることができるようにする。</p> <p>・実際に自分がつくったデザインが、社会の中で生かされることを通して、生活や社会の中の美術に興味関心がもてるようにする。</p>	<p>・伝えたい内容や動く単純化された表現の美しさ面白さを感じ取り、作者の意図と創造的な工夫や、生活や社会を豊かにする美術の働きなどについて考えるなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深めている。</p> <p>評価規準(エ)《発言・学習カード》</p> <p>・美術の創造活動の喜びを味わい、主体的に用と美の視点をもって作品鑑賞している。</p> <p>評価規準(カ)《発言・学習カード》</p>

#### 5 本時の学習

##### (1) 主眼

はじめて街を訪れた人により楽しく快適に過ごしてもらえるような「動くピクトグラム」を考え始めた生徒が、アイデアスケッチを振り返り、伝えたいことが伝わるためにはどう工夫したらよいか、参考作品をグループで比較鑑賞することを通して、訪れる人たちの気持ちと、適切な情報量、効果的な動きを考えながら、より伝わる動くピクトグラムの構想を練ることができる。

##### (2) 指導事項

A 表現(1)イ(イ) 伝える目的や条件などを基に、伝える相手や内容、社会との関りなどから主題を生み出し、伝達の効果と美しさなどとの調和を総合的に考え、表現の構想を練ること。

##### (3) 本時の位置(全5時間中第2時)

前時:1964年と2020年東京オリンピックのピクトグラム鑑賞し、はじめて自分たちの街を訪れた人がより楽しく快適に過ごせる2～3コマの動くピクトグラムを考えはじめた。

次時:本時練り上げたアイデアをもとに、iPadのkeynoteを使って制作を行う。

##### (4) 指導上の留意点

・前時が1か月以上前なので、本時の最初に前時の制作の様子と目的について確認する。

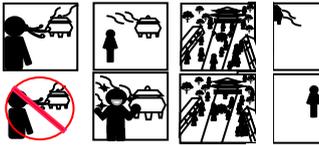
・「お助けカード」を配布し、主題の決定で困っている生徒は、発想が広がるように支援する。

##### (5) 準備品

教師:マイク、PC、iPad、プロジェクター、白い付箋、学習カード、色鉛筆、5B鉛筆、城山地区の資料、参考作品

生徒:筆記用具、iPad

(6) 展開

段階	学習活動	予想される生徒の反応	◇教師の指導・援助 □評価	時間	備考
導入	<p>1 前時を振り返り、題材の目的を確認する。</p> <p>2 4つの作品を比較鑑賞してグループで話し合い、課題をもつ。</p>	<p>ア 夏休み中ピクトグラムを●●で見かけた。以前より、ピクトグラムに注目するようになった。</p> <p>イ ぱっと見て意味が伝わる、というところが前回やってみて難しいと感じた。</p> <p>ウ 自分が描いた絵が動いて見えるのが楽しかったな。見る人にも伝わるかな。</p> <p>エ 前はよくありそうなピクトグラムを描いたから、もっとこの街を訪れた人のためになるものをつくりたい。</p> <p>オ 友だちの「ここは桜がきれいですよ」は、ここに暮らす私たちだからこそ伝えられることだからとてもいいと思う。</p> <p>カ 禁止マークだと、大香炉の煙を浴びるよさが伝わらない。伝えたいことを形にしたほうがいいんだな。</p> <p>キ たくさん描いていてもわかりにくいし、省略しすぎると何だかわからない。情報量の調節も大切なんだな。</p> <p>【教師の参考作品】</p> <p>「大香炉の煙を浴びると元気になるれます」</p>  <p>&lt;学習課題&gt;</p>	<p>◇前時の学習を振り返る</p> <p>◇ピクトグラムがどのようなものだったか確認する。</p> <p>・どんな国のどんな年代の人にも</p> <p>・ぱっと見て意味がきちんと伝わる</p> <p>・単純化されたデザイン</p> <p>◇前時、この街に設置したいピクトグラムを考えた生徒のアイディアスケッチ数点をスクリーンで鑑賞し、題材の目的である「はじめて街を訪れた人が、楽しく快適に過ごすための動くピクトグラム」について確認する。</p> <p>◇同じ主題で、表し方と情報量と動きが違う作品例を提示し、それぞれの作品から受ける感じをグループで話し合い発表するように促し、まとめてから学習課題へつなげる。</p>	13	<p>プロジェクト マイク</p> <p>参考作品</p>
発想 構想	<p>3 アイディアスケッチを見直し、練り上げる。</p>	<p>話し合ったことをもとに、伝えたいことがより伝わるアイディアスケッチにしよう。</p> <p>ク 「美術館の上から見た景色がおすすめです」と伝えたい。景色を細かく描くだけで情報量が多いだけで、伝えたいことがわからなくなってしまうぞだな。</p> <p>ケ 2コマ目に面白さも入れてみた。見た人が笑顔になるようなものをつくりたいな。</p> <p>コ お辞儀の仕方を正面から表すか、横から表すかどちらがわかりやすいか、両方描いてみてどちらが伝わるか友だちに聞いてみよう。</p> <p>サ 私は七味唐辛子の瓶だと思って描いたけど、友だちにはよく伝わらなかった。2コマ目に瓶をアップにして唐辛子の絵を入れてみよう。</p> <p>シ 七味の辛さを赤い色を使って表してみたら、辛そうな感じが表せてきていると思う。</p> <p>ス 善光寺の描き方を写真を見ながら研究した。細かく描きすぎないように気をつけよう。</p> <p>セ 友だちの作品は動きが工夫されていて面白かった。私も動きの工夫をしてみよう。</p>	<p>◇先程の話し合いを基に主題やアイディアを見直し、練り上げる。</p> <p>◇主題の発想に困っている生徒には、主題決定までの情報が整理できる「お助けカード」を見るように促す。</p> <p>◇描き方などで困っている場合は、友だちと相談したり、iPadで写真を検索したりして参考にしてもよいことを伝える。</p> <p>◇途中で自由に友だちの作品を見に行ってもよい時間(相互鑑賞タイム)を5分程設定する。</p> <p>◆見る人の気持ち、適切な情報量、効果的な動きを考えながら、より伝わる動くピクトグラムの構想を練ることができる。</p> <p>評価規準(ウ)《アイディアスケッチ》</p>	30	<p>学習カード 資料 鉛筆 色鉛筆 付箋 iPad お助けカード</p>
まとめ	<p>4 本時を振り返り、活動のまとめをする</p>	<p>ソ そばの食べ方を2コマ目に禁止マークを使ってそばつゆは飲みませんと表していたけど、そばつゆにそばをつけて食べているデザインに変えたら優しい表現になったと思う。</p> <p>タ 1コマ目の桜を消して葉っぱだけにしてみた。コマ撮りにすると花が咲く感じが出て、とてもよくなった。</p> <p>チ 訪れる人たちの気持ちを考えて情報量や動きを工夫することで前よりもいいアイディアが出せた。友だちの作品を見たらもっと工夫したくなった。次回が楽しみだ。</p>	<p>◇本時の活動を振り返り、学習カードに感想を記入するように促し、活動のまとめをする。</p> <p>◇前時と比べより伝わる表現になった生徒や、工夫が見られる生徒の作品を紹介し、よさを共有する。</p>	7	<p>学習カード</p> <p>プロジェクト マイク</p>